5way

ラブあみ® Premium（プレミアム）セット

Love Knitting

取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱説明書を保護者の方と一緒に必ずお読みください。

対象年齢 6才以上

保護者の方へ

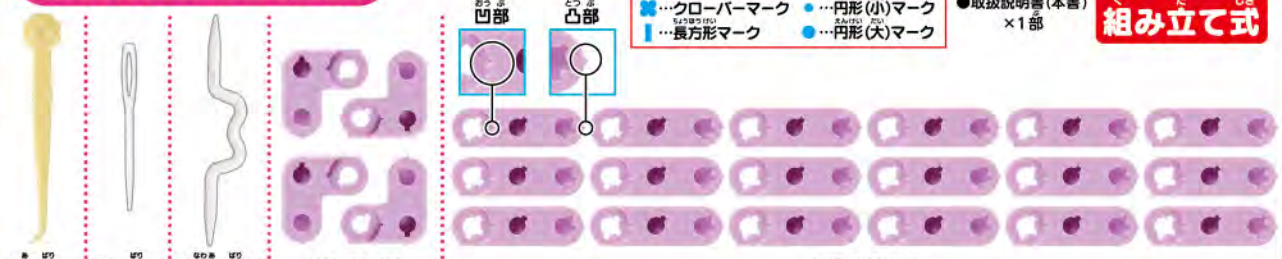
- 遊ぶ前にこの取扱説明書をお子様とよくお読みになり、正しい遊び方を覚えてください。
- 初めは一緒に遊んであげてください。また、お子様が慣れるまで難しいところは、大人の方が手伝ってあげてください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。
- 編み針、とじ針、縄編み針、はさみを使用する際は、お取扱いに十分ご注意ください。
- ボンドを使用する際は、新聞紙などを敷いて、周りが汚れないようにしてください。また汚れてもよい服装で作業してください。

もくじ

P1	保護者の方へ、もくじ、セット内容・各部名称、セット内容以外に用意するもの
P2	ルーム(編み機)の組み立て方について、編み針の持ち方、糸のつなぎ方、ピンへの糸のかけ方・編み方
P3～4	基本の編み方を覚えよう!（長方形タイプを使って!）、猫耳ニット帽を作ろう!
P5～7	基本の編み方を覚えよう!（ミニタイプ（4ピン）を使って!）、ミニタイプ（4ピン）のアレンジ例、フラップ付きクリアポシェットを作ろう!、縄編みマフラーを作ろう!、キャンディを作ろう!
P7～8	基本の編み方を覚えよう!（ミニタイプ（8ピン）を使って!）、8ピンのアレンジ例、ロールケーキを作ろう!、さくらんぼを作ろう!
P9	基本の編み方を覚えよう!（横2ピンを使って!）、丸モチーフの編み方、丸モチーフのアレンジ例
P10～12	基本の編み方を覚えよう!（円形（小）タイプを使って!）、筒状のまま仕上げる場合の糸端の始末、くまのマスコットを作ろう!、ふわっふわのあみぐるみを作ろう!
P13	基本の編み方を覚えよう!（横8ピンを使って!）、ミニポシェットを作ろう!
P14～15	基本の織り方を覚えよう!（正方形タイプを使って!）、コースターを作ろう!、タッセルの作り方、タッセルの結び方:応用編（まとめ結び）、タッセルのアレンジ例
P16	三つ編みの仕方、リボン結びの仕方、ポンポンメイクの使い方(ポンポンの作り方)、ポンポンの付け方

セット内容・各部名称

組み立て式



●編み針 ×1　●とじ針 ×1　●縄編み針 ×1　●パーツA ×4　●パーツB ×18　●取扱説明書(本書) ×1部

●ピン ×48

※ピンは、ランナー付きの状態で入っています。必ず保護者の方が、はさみなどできれいに切り取ってください。

●毛糸 ×4（イエロー、レインボー、ミントグリーン、パープル）

●わた ×1

●ポンポンメイク（大）×1

●ポンポンメイク（小）×1

●ヘアゴム ×1

●ヘアピン ×1

●クリアポシェット用透明パーツ ×2

●ガイドシート ×4

●目パーツ ×2

●鼻パーツ ×1

●ジョイントパーツ（3種）×1

●リボン ×1

セット内容以外に用意するもの

●はさみ　●メジャー（定規）　●ボンド　●作例に応じて市販のお好みの毛糸、フェルトなど

※付属の毛糸、リボンで、ふわっふわのあみぐるみ、フラップ付きクリアポシェット、フラワーヘアピン、キャンディヘアゴム、リボンブレスレットの全てが作れます。
※付属の毛糸以外の作例は、ハマナカ社の市販の毛糸などを使用しております。　※写真・イラストは製品とは多少異なりますのでご了承ください。

ルーム(編み機)の組み立て方について

作りたい作例に合わせて、ルームの形が組みかえられます！

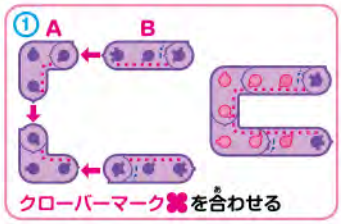
・パーツのクローバーマーク✖が隣のパーツと続くように必ず向きをそろえてください。
・接続部はピンをさして固定します。・難しい時は大人の方が手伝ってあげてください。

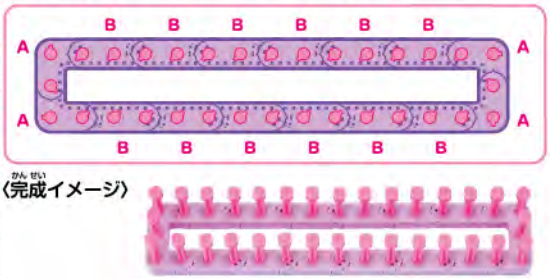
ピンのさし方

ピンの下部に突起があります。ピンをさす向きは、組んだ形によって決まっているため、各タイプごとイラストを見て確認してください。

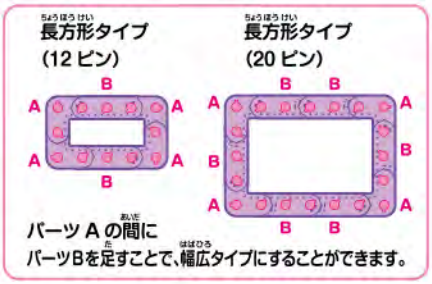
長方形タイプ　パーツA、パーツBを使用

①パーツAとパーツBの凹凸を合わせて横からスライドさせ、組み合わせて、ピンで固定します。
②パーツBの凸部を凹部の長方形マークに合わせて、ピンの向きを確認し、ピンをさして固定します。





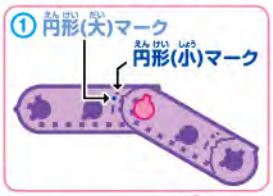
〈完成イメージ〉

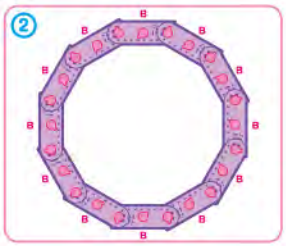


パーツAの間にパーツBを足すことで、幅広タイプにすることができます。

円形(小)タイプ　パーツBを使用(12個)

①パーツBの凸部を凹部の円形(小)マーク•に合わせて、ピンをさして固定します。
②パーツBの凹凸部を交互に組み合わせ、下のイラストでピンの向きを確認し、ピンをさして固定します。

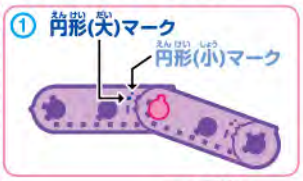




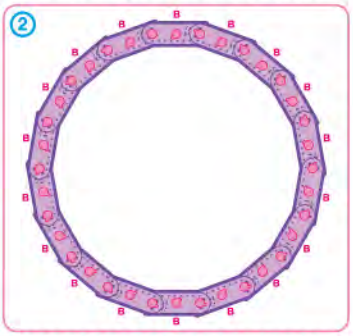
〈完成イメージ〉

円形(大)タイプ　パーツBを使用(18個)

①パーツBの凸部を凹部の円形(大)マーク●に合わせて、ピンをさして固定します。
②パーツBの凹凸部を交互に組み合わせ、下のイラストでピンの向きを確認し、ピンをさして固定します。

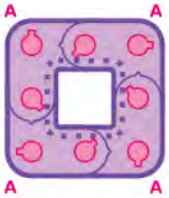


〈完成イメージ〉



ミニタイプ　パーツAを使用(4個)

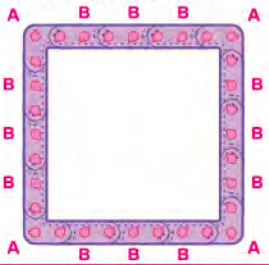
パーツA 4個を正方形になるように組み合わせ、ピンで固定します。



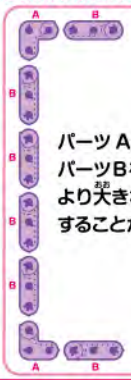
〈完成イメージ〉

正方形タイプ　パーツA、Bを使用

パーツA 4個の間にパーツBを正方形になるように組み合わせ、ピンで固定します。



〈完成イメージ〉



パーツAの間にパーツBを足すことで、より大きな正方形にすることができます。

編み針の持ち方

自分のやりやすい持ち方で編みましょう。
はじめての方は①の持ち方がおすすめです。

ワンポイントアドバイス

糸のつなぎ方

① 糸端と糸端を結びます。
② そのまま編みます。
③ P4「長方形タイプを使って！ 8」と同じように糸端の始末をします。

ピンへの糸のかけ方・編み方

糸をピンにきつくかけると編みにくいので、糸を引っ張ってゆるめながら編みましょう。

基本の編み方を覚えよう！

一工程ごとに解説しているので、ここを見ながらやれば、カンタンです。

長方形タイプを使って！

平編み： 1目ゴム編み（両面から見える編地）

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. 輪を作ります

① 糸を輪にして、指を入れます。

② 糸をつかみます。

③ そのまま引き出します。

④ 輪ができました。

3. はじめの糸かけをします

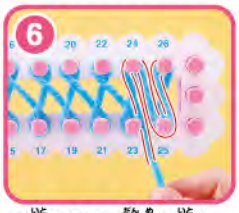
① ガイドシートの★マークのピンに輪をかけます。（糸端はルームの外側に出してください。）

② 1のピンの右から、糸を1回転します。

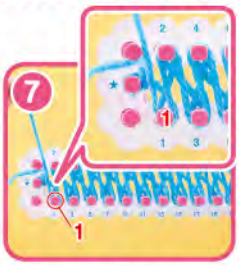
③ 2のピンの右から、糸を1回転します。

④ 番号通りに繰り返し、糸を8の字に26のピンまでかけます。

⑤ 糸かけの1段目の毛糸を押し下げます。



⑥ 糸かけの2段目は糸をねじらないで、下・上と、かけます。



⑦ 1のピンの位置までかけます。

4. 編みます

① 最後に糸をかけた1のピンから編みます。下の糸を編み針ですくいます。

② そのまま、下の糸をピンの向こう側に持って行きます。

③ ピンから外し、1目編めました。

④ ①～③を糸かけをしたすべてのピンで繰り返し、編みます。これで1段目が編めました。

5. 糸かけをします

糸をねじらないで、上・下とかけます。

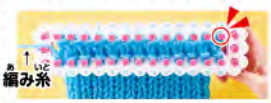
※糸かけの時は、ピンのかけ忘れが無いように注意してください。

6. 繰り返し、編みます

※ガイドシート（★）の糸は数段編めたら外します。

7. 編みおわりの始末

① 編み糸がついていない方の、右上の糸を取ります。



② ピンから外して、下のピンにかけます。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸（ハマナカ ジャンボニー：水色(15)）を使用しております。

7. 編みおわりの始末（つづき）

③ ②でかけた糸を、指で引っ張ります。

④ できた輪の中に編み針を入れ、ピンにかかった下の糸をすくいます。

⑤ 編み針を引き上げ、2本ともピンから外します。

⑥ ⑤で編み針にかかった糸を左上のピンにかけます。③～⑥を矢印の順に繰り返し、ピンから外します。

② 編み針をそのまま、引き上げます。

③ 糸にとじ針をつけます。

④ 4、5段、編み目に糸を通します。

⑤ 糸を切ります。

⑥ 編みはじめの糸も同じ様に始末して、できあがりです。

8. 糸端の始末

① 15cm くらい糸を残して切ります。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸（ハマナカ ジャンボニー：水色(15)）を使用しております。

猫耳ニット帽を作ろう！

使用する毛糸：ハマナカ　ボニーループ　白(1)　約65g
（※セット内容には含まれません。）
用意するもの：リボン　白（6mm幅）　35cm×3本
（※セット内容には含まれません。）

糸かけ　長方形タイプ（端から 12 ピン）

編む（本体）

毛糸を2本取りし、長方形タイプで約15cm編みます。2枚編みます。
※編み方は、P3「長方形タイプを使って!」を参照。

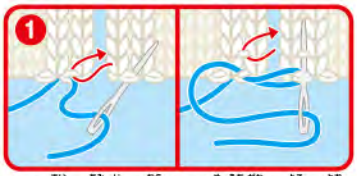
2本取り:
2本を1束にすること

仕上げ
①本体2枚の両端を毛糸ですくいとじで縫い合わせます。
②上部を毛糸で巻きかがりで縫い合わせます。
③本体にリボンを3カ所、リボン結びで結んで取りつけます。
※リボン結びの仕方は、P16を参照。

巻きかがりの仕方

巻くように、
図のようにかがります。

すくいとじの仕方



① 2枚の編地を並べ、1目内側の横に通っている毛糸を交互に1段ずつすくいます。

② 数段すくったら、とじた毛糸が見えなくなる程度に引っ張ります。端まで繰り返します。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

基本の編み方を覚えよう！

ミニタイプ（4ピン）を使って！

輪編み

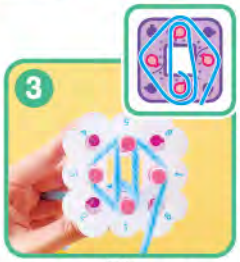
1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. 糸をかけます

① ルームの真ん中に糸を入れます。

② 1 のピンの右から 5 のピンへ縦に糸をかけ、糸を押し下げます。



③ ぐるっと1周、すべてのピンに糸をかけます。(1・3・5・7のピンにかかっていれば○)

3. 編みます

① 1 のピンを編みます。下の糸を編み針ですくいます。

② そのまま、下の糸をピンの向こう側に持って行きます。

③ ピンから外し、1目編めました。

④ 3のピンは編まずに、その次の2本かかっている5のピンを編みます。これで1段目が編めました。

4. 繰り返し編みます

糸をピンの手前にかける
↓
1目を編む

1目ごとに、糸をかけて編みます。

① 2段目からは、すべてのピンを編みます。

5. 編みおわりの始末

② 時々、編地を下に引っ張りながら、欲しい長さまで編みます。

① 20cm くらい糸を残して切り、糸にとじ針を通します。

② ピンにかかっている糸の下からとじ針を通し、そのまま糸を引っ張ります。

③ 次のピンも同じように下から上に糸を通し、1周します。

③ ピンから取り外します。(糸端の始末は作品に仕上げてから行います。)

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸（ハマナカ ジャンボニー：水色(15)）を使用しております。

ミニタイプ（4ピン）のアレンジ例

リボンブレスレット

①手首のサイズに合わせて必要な長さを編みます。
※編みはじめと編みおわりは約20cm残します。
②両端のリボンを結んで使用してください。

ウールレター（Love）

①お好みの並太の毛糸で約70cmの長さを編みます。
②編地の空洞部にワイヤーをはみ出さないように通し、両端の糸を引っ張り絞り、それぞれ内側に入れます。
③写真を参考にLoveの文字になるように曲げます。

ニットリボン（中サイズ）

①お好みの毛糸で約41cmの長さを編みます。
②両端の糸を引っ張り絞り、それぞれ内側に入れます。
③リボン結びをします。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

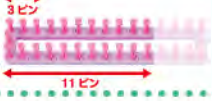
フラップ付きクリアポシェットを作ろう！

使用する毛糸：毛糸(レインボー) 約 25g
毛糸(ミントグリーン) 約 40g
用意するもの：クリアポシェット用透明パーツ 2 枚

糸かけ

長方形タイプ（端から 3 ピン）

長方形タイプ（端から 11 ピン）



編む（本体）

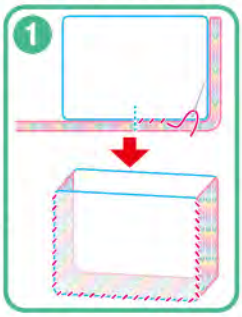
長方形タイプ（3ピン）を使用し、毛糸(レインボー)で約 43cm 編みます。
※編み方は、P3「長方形タイプを使って！」を参照。

編む（フラップ）

長方形タイプ（11 ピン）を使用し、毛糸(ミントグリーン)で約 17cm 編みます。
※編み方は、P3「長方形タイプを使って！」を参照。

仕上げ

①クリアポシェット用透明パーツと本体を、毛糸(レインボー)を使って巻きかがりで片面ずつ縫い合わせます。
※本体の中心位置から縫い合わせるとずれにくいです。
※巻きかがりの仕方は、P4 を参照。
②フラップを、毛糸(ミントグリーン)を使って巻きかがりで縫い合わせます。
③毛糸(レインボー)約 1m×3 本で三つ編みを編みます。
※三つ編みの仕方は、P16 を参照。
④三つ編みのひもを本体の左右対称の位置の編み目に通して結びます。



縄編みにチャレンジ！

縄編みマフラーを作ろう！

使用する毛糸：ハマナカ ジャンボニー ピンク (8) 約 215g
（※セット内容には含まれません。）
用意するもの：縄編み針

糸かけ

長方形タイプ（端から 11 ピン）

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※ 慣れたら外してください。

2. 編みます

① 7 段編みます。
※ 編み方は、P3「長方形タイプを使って！1～6」を参照。

② 13 のピンにかかっている糸を縄編み針に取ります。

③ 続けて 11 のピンにかかっている糸も縄編み針に取ります。

④ 編み針で 9 のピンにかかっている糸を取ります。

⑤ そのまま 13 のピンにかけます。

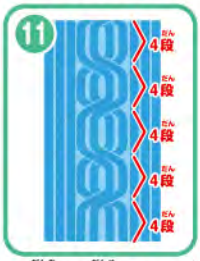
⑥ 同様に、7 のピンにかかっている糸を 11 のピンにかけます。

⑦ 縄編み針の右側の糸を編み針で取ります。

⑧ そのまま 9 のピンにかけます。

⑨ 縄編み針に残った糸を編み針で取り、7 のピンにかけます。

⑩ 糸かけを P3「長方形タイプを使って！5」と同じようにし、全体を編みます。



⑪ 4 段編み、5 段目で②～⑨を繰り返します。約 115cm 編み、編みおわりの始末をします。
※ 編みおわりの始末は、P3「長方形タイプを使って！7～8」を参照。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15))を使用しております。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

キャンディを作ろう！

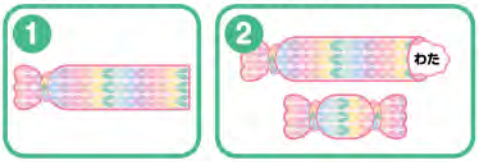
使用する毛糸：毛糸(レインボー) 約7グラム
用意するもの：わた 適量

糸かけ ミニタイプ（4ピン）

編む 約9cm編み、糸端の始末をします。

※編み方は、P5「ミニタイプ(4ピン)を使って！」を参照。
※糸端の始末の仕方は、P11「筒状のまま仕上げる場合の糸端の始末」を参照。

仕上げ
① 端から約2.5cmの部分を、毛糸を巻きつけて強く絞って結びます。余分な毛糸は根元で切ってください。
② わたを入れ、反対側も同じように絞って結びます。



キャンディのアレンジ例

基本の編み方を覚えよう！

ミニタイプ(8ピン)を使って！ 輪編み

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. 糸をかけます

① ルームの真ん中に糸を入れます。

② 1・3・5・7のピンにかけます。

③ ぐるっと1周、すべてのピンに糸をかけます。

3. 編みます

① 1のピンの手前の糸を編み針ですくい、ピンの向こう側に持って行きます。

② ピンから外し、1目編めました。

③ 2本糸がかかっている3・5・7のピンを編みます。これで1段目が編めました。

4. 繰り返し編みます

1目ごとに、糸をかけて編みます。

① 2段目からは、すべてのピンを編みます。

② 時々、編地を下に引っ張りながら、欲しい長さまで編みます。

5. 編みおわりの始末

① 20cmくらい糸を残して切り、糸にとじ針を通します。

② ピンにかかっている糸の下からとじ針を通し、そのまま糸を引っ張ります。

③ ピンから取り外します。
（糸端の始末は作品に仕上げてから行います。）

8ピンのアレンジ例

ニットリボン(大)

①お好みの毛糸で約60cmの長さを編みます。
②両端の糸を引っ張り絞り、それぞれ内側に入れます。
③リボン結びをします。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸（ハマナカ ジャンボニー：水色(15)）を使用しております。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

ロールケーキを作ろう！

使用する毛糸：ハマナカボニー 赤(429) 約 3g・ピンク (465) 約 10g・白(401) 約 5g・茶(418) 約 8g（※セット内容には含まれません。）
用意するもの：梵天(白 直径約 15mm)6 個、わた 適量、ボンド 適量
（※セット内容には含まれません。）

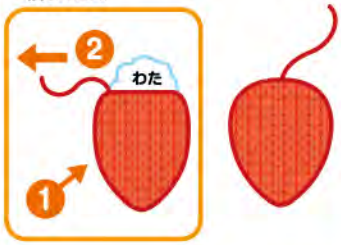
糸かけ
ミニタイプ(8 ピン) 1 周

編む（ケーキ）

①ミニタイプ (8 ピン)を使用し、ピンクの毛糸で約 24cm、白の毛糸で約 14cm、茶色の毛糸で約 10cm をそれぞれ編みます。
※編み方は、P7「ミニタイプ (8 ピン)を使って!」を参照。
②両端の糸を引っ張り絞った後、残りの糸は中に入れてください。

編む（いちご）

①赤の毛糸で約 4cm 編みます。編みはじめの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
※編み方は、P7「ミニタイプ (8 ピン)を使って!」を参照。
※十字の縫いとめ方は、P11「糸端の始末（輪編みの十字の縫いとめ方）」を参照。
②わたを入れ、編みおわりの糸を引っ張り絞ります。



仕上げ

組み立てます。
①ケーキ(茶)とケーキ(白)を約 2cm ずらして重ねます。端からロール状に巻き、茶色の毛糸を使用し、巻きかがりで縫いとめます。ケーキ(白)の両端を白の毛糸で縫いとめます。
②ケーキ(ピンク)を外側から巻きつけ、ピンクの毛糸を使用し、巻きかがりで縫いとめます。ケーキ(ピンク)の両端も縫いとめます。
③いちごを編みおわりの糸でケーキに巻きかがりで縫いつけます。
④梵天6個をいちごの周りにボンドで貼りつけます。

巻きかがりの仕方
巻くように、図のようにかがります。

さくらんぼを作ろう！

使用する毛糸：ハマナカ エコアンダリヤ 赤(37)・緑(17) 各適量 （※セット内容には含まれません。）

糸かけ

編む（実）

ミニタイプ (8 ピン)を使用し、赤の糸で約 3cm 編みます。2 個作ります。
※編み方は、P7「ミニタイプ (8 ピン)を使って!」を参照。

編む（葉）

①ミニタイプ (4 ピン)を使用し、緑の糸で約 2.5cm 編みます。2 個作ります。
※編み方は、P5「ミニタイプ(4 ピン)を使って!」を参照。
②両端の糸を引っ張り絞ります。
③残りの糸は片側のみ葉の中に 3、4 針縫いこみ、余分な糸を切ります。もう片方の残りの糸は長めに残しておきます。

編む（茎）

くさり編みを指編みで約 7cm 編みます。（緑の糸を使用）

① 糸を輪にして、指を入れます。
② 糸をつかみます。
③ そのまま引き出します。
①～③をくり返します。

④ 必要な長さまで編めたら糸を切り、輪から糸を引き抜けばできあがりです。

仕上げ

組み立てます。
①実の編みはじめの糸を引っ張り絞った後とじ針に通し、実の内側に入れます。
②茎の残りの糸の片方をとじ針に通し、実の編みはじめの中心部から内側に入れ、実の編みはじめの糸と一緒に固結びします。反対側も同じように実の内側で固結びします。
③実に赤の糸を丸くなるように適量入れ、編みおわりの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
※十字の縫いとめ方は、P11「糸端の始末（輪編みの十字の縫いとめ方）」を参照。
④茎の中央を 2 つ折りにし、葉の残りの糸をとじ針に通して茎に縫いつけます。残りの糸は葉の中に 3、4 針縫いこみ、余分な糸を切ってください。2 枚縫いつけます。

基本の編み方を覚えよう！

横2ピンを使って！ 8の字編み

① ルームの真ん中に糸を入れます。

② 前後のピンに 8 の字にかけ、糸を押し下げます。

③ 次は糸をねじらずに前後のピンに糸をかけます。

④ 下の糸を編み針ですくい、ピンの向こう側に持っていき、1 目編みます。

⑤ 反対側も、1 目編みます。

⑥ 編み糸を手前に引っ張り、糸のゆるみをとります。

1 目ごとに、糸をかけて編みます。

⑦ 時々、糸を下に引っ張りながら、欲しい長さまで編みます。

⑧ 編みおわりの始末をし、ピンから取り外します。
※P5「ミニタイプ(4 ピン)を使って! 5」を参照。

ニットリボン(小サイズ)を作ってみよう！

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15))を使用しております。

丸モチーフの編み方

丸モチーフ

1. 糸を巻きます

① ピンに糸を巻きつけます。糸が縦に並ぶよう端から順番に巻くと仕上がりが綺麗になります。(並太毛糸の場合は 15 回巻きつけます。)

② 巻きおわりの糸を約 30cm 残して切り、糸にとじ針を通します。

2. 結びます

① 右から左に糸を通します。

② 糸を引っ張っている途中にできる輪の中に糸を通します。

③ ピンの下に結び目がくるようにし、糸を強く引っ張り絞ります。もう一度繰り返し結びます。

④ 次は反対側を結びます。巻いた輪の右から左に糸を通します。

⑤ 糸を引っ張っている途中にできる輪の中に糸を通します。

⑥ ピンの上に結び目がくるようにし、糸を強く引っ張り絞ります。もう一度繰り返し結びます。

⑦ ピンから外し、巻きはじめの残り糸は中に入れてください。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ボニー：水色(471))を使用しております。

丸モチーフのアレンジ例：フラワーヘアピン

使用する毛糸：毛糸(ミントグリーン) 約 5g、毛糸(イエロー) 約 1g
用意するもの：ヘアピン

糸かけ

作り方

① 毛糸(ミントグリーン)で4回巻き、丸モチーフを作ります。5個作ります。
② 毛糸(イエロー)で4回巻き、丸モチーフを作ります。1個作ります。
③ 丸モチーフ(ミントグリーン)5個の残りの糸をそれぞれ中央で結び合います。
④ 別糸(ミントグリーン)で中央をぐるっと1周通し固結びし、根元で余分な糸を切ります。
⑤ 丸モチーフ(イエロー)の残りの糸で中央部分に縫い付けます。
⑥ ヘアピンに別糸(イエロー)で縫い付けます。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

基本の編み方を覚えよう！

円形(小)タイプを使って！

輪編み：表編み（表側から見える編地）

裏編み（裏側から見える編地）

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. 糸をかけます

① ルームの真ん中に糸を入れます。ガイドシートの1のピンからはじめます。

② 1のピンの手前に糸をかけます。

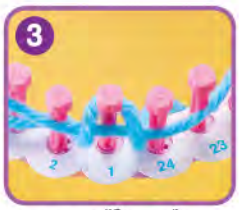
③ 2のピンは後ろ、3のピンは手前と、交互に糸をかけます。

④ 糸を1周かけおわったら、糸を押し下げます。

3. 編みます

① 1のピンから編みます。糸をピンの手前にかけ、下の糸を編み針ですくいます。

② そのまま、下の糸をピンの向こう側に持って行きます。



③ ピンから外し、1目編めました。

④ 2のピンも糸をピンの手前にかけます。2のピンは糸が1本しかかかっていないので、編みません。

⑤ 3のピンは糸をピンの手前にかけ、下の糸をすくって編みます。

⑥ 編む、編まないを繰り返し、1周します。これで1段目が編めました。

4. 繰り返し編みます

1目ごとに、糸をかけて編みます。

① 2周目からは、すべてのピンを編みます。

② 欲しい長さまで編みます。
※ 必ず24のピンでおわるように編んでください。

5.編みおわりの始末

① 大きめにぐるっと1周する長さで糸を切り、糸端をとじ針に通します。

② 1のピンにかかっている糸の下からとじ針を通します。

③ そのまま糸を引っ張ります。

④ 2のピンも同じように下から上に糸を通し、1周します。

⑤ 編み針でピンからすべての糸を外します。

⑥ 編地を整えます。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15))を使用しております。

6. 糸端の始末(輪編みの十字の縫いとめ方)

① 糸を引っ張り、絞ります。

② 糸端にとじ針をつけ、横に通します。

③ 縦にとじ針を通した後に引っ張り、絞ります。

④ 残りの糸は内側に入れます。

⑤ できあがりです。(※作例によって、もう片方も縫いとめます。)

筒状のまま仕上げる場合の糸端の始末

① 編みはじめと編みおわりの糸を引っ張り、ゆるみをとります。

② 約15cm糸を残して切り、とじ針に通します。

③ 4、5段、編み目に糸を通します。

④ 糸を切ります。

⑤ 編みはじめの糸も同じように始末して、できあがりです。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ボニー:水色(471))を使用しております。

※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

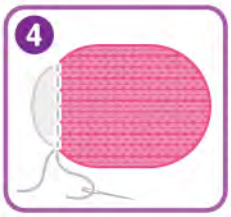
くまのマスコットを作ろう!

使用する毛糸:ハマナカ ボニー ピンク (465) 約10g、
ハマナカ ボニー 白 (401) 約2g
用意するもの:わた 適量、フェルト(黒)適量、ボンド 適量
(※わた以外はセット内容には含まれません。)

糸かけ 正方形タイプ(16ピン)1周 / 横2ピン

編む(体)

①正方形タイプ(16ピン)を使用し、白の毛糸で2段、ピンクの毛糸で約7cm編みます。
※編み方は、P10「円形(小)タイプを使って! 1~5」を参照。
※糸の替え方は、P2「糸のつなぎ方」を参照。
②編みはじめの糸(白)を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
※十字の縫いとめ方は、P11「糸端の始末(輪編みの十字の縫いとめ方)」を参照。
③わたを入れ、編みおわりの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。両端の残り糸は内側に入れてください。
④色の境目部分を白の毛糸で1周縫います。両端を引っ張り絞った後に固結びをします。両端の残り糸は内側に入れてください。



編む(耳)

①横2ピンを使用し、ピンクの毛糸で3段編みます。2個作ります。
※編み方は、P9「横2ピンを使って!」を参照。

仕上げ 組み立てます。

①耳の両端の糸を体にとじ針で通し、耳の裏側で固結びします。両端の残り糸は体の中に入れて余分な糸を切ります。
②フェルト(黒)を目と鼻パーツの形に合わせて切り、ボンドで貼りつけます。

実寸大

目のサイズ:直径約5mm

ふわっふわのあみぐるみを作ろう！

使用する毛糸：毛糸(パープル) 約 65g
用意するもの：目パーツ ×2、鼻パーツ ×1、わた 適量、
ジョイントパーツ(3種)×1

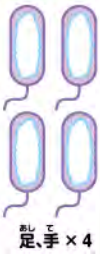
糸かけ

編む(耳)

① ミニタイプ(4ピン)で3段編みます。
2個編みます。
※ 編み方は、P10「円形(小)タイプを使って！1～5」と同じように編んでください。
② 両端の糸を引っ張り絞ります。

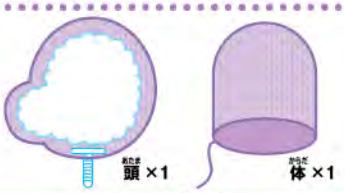
編む(足・手)

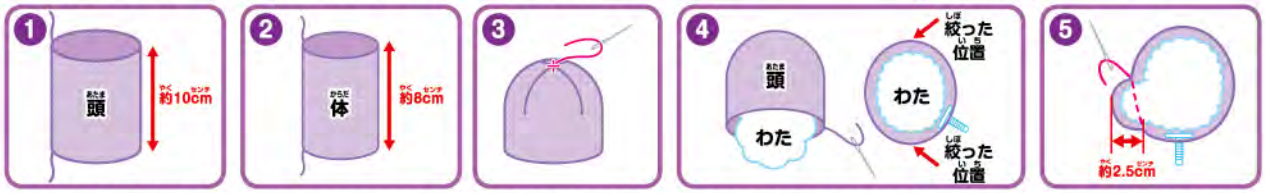
① ミニタイプ(4ピン)で約5cmの長さを4個編みます。
※ 編み方は、P10「円形(小)タイプを使って！1～5」と同じように編んでください。
② 編みはじめの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
※十字の縫いとめ方は、P11「糸端の始末(輪編みの十字の縫いとめ方)」を参照。
③わたを入れ、編みおわりの糸を引っ張り絞ります。



編む(頭・体)

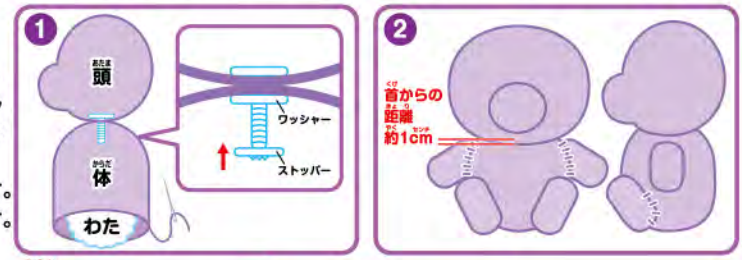
① 頭を、長方形タイプ(20ピン)で約10cm編みます。
② 体を、正方形タイプ(16ピン)で約8cm編みます。
※ 編み方は、P10「円形(小)タイプを使って！1～5」と同じように編んでください。
③ 頭と体の編みはじめの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
※十字の縫いとめ方は、P11「糸端の始末(輪編みの十字の縫いとめ方)」を参照。
④ ジョイントパーツ(凸)を頭の半分より下側の位置で内側からさし、わたを入れ、編みおわりの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。両端の残り糸は、内側に入れてください。
⑤ジョイントパーツに近い方の絞った位置から約2.5cmの部分を毛糸で1周縫います。両端を引っ張り絞った後に固結びをします。両端の残り糸は内側に入れてください。





仕上げ 組み立てます。

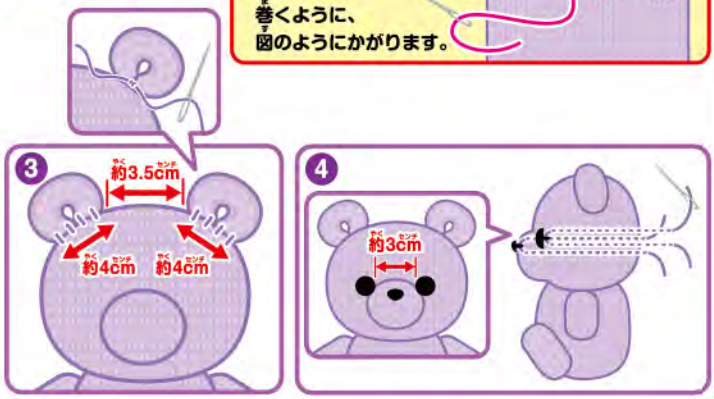
① 体の中心に、頭から出ているジョイントパーツ(凸)を入れ、体の内側からワッシャー、ストッパーの順にしっかりと差し込みます。体にわたを入れてから編みおわりの糸を引っ張り絞った後、十字に縫いとめます。
② 足と手を、編みおわりの糸で体に巻きかがりで縫いつけます。
③ 耳の両端の糸を頭にとじ針で通し、耳の裏側で固結びします。両端の残り糸は頭の中に入れて余分な糸を切ります。
④ 目パーツ2個と鼻パーツを毛糸で頭の後ろから縫いつけます。糸の両端を固結びし、糸端は中に入れてください。



【注意】
一度ストッパーを差し込むと取り外すことはできません。

巻きかがりの仕方

巻くように、
図のようにかがります。



※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

基本の編み方を覚えよう！

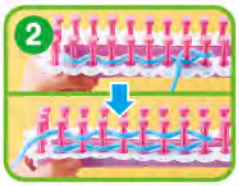
横８ピンを使って！ 平編み

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. 糸をかけます

① ルームの真ん中に糸を入れ、1のピンの手前、3のピンの後ろ、5のピンの手前と、交互に糸をかけます。



② 15のピンまでかけたら折り返して、前、後ろと戻るように1のピンの後ろに糸をかけます。

3. 編みます

① 1のピンの手前に糸をかけ、下の糸を編み針ですくい1目編みます。15のピンまで編みます。(1列編む＝1段編む)

② 15のピンまで編んだら、15のピンの手前に糸をかけ、戻るように1のピンまで編みます。

③ 1のピンまで編んだら、1のピンの手前に糸をかけ、15のピンまで再び編みます。

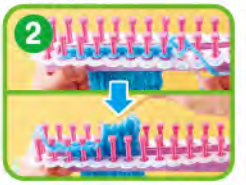
4. 繰り返し編みます

1目ごとに、糸をかけて編みます。

時々、編地を下に軽く引っ張りながら、欲しい長さまで編みます。

5. 編みおわりの始末

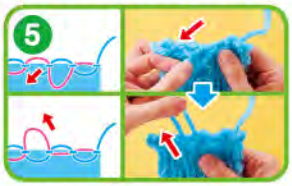
① 糸を編地の横幅の3倍の長さが残るように切り、とじ針を通します。



② ピンにかかっている糸の下から上へとじ針を通します。1列すべて通したら、ピンから外します。

③ 編みおわりの糸を引っ張り、ゆるみを取り端を整えます。

④ 編みはじめ側の、糸端と直接繋がっていない糸を引っ張り、ゆるみを取ります。



⑤ 左端まで交互に引っ張り糸のゆるみを取ります。

⑥ 最後に糸端を引っ張り、ゆるみを取り、端を整えます。

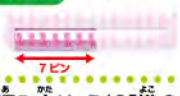
⑦ 糸端を始末してください。
※糸端の始末の仕方は、P4「長方形タイプを使って！8」を参照。

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15))を使用しております。
※使用する毛糸の量はあくまで目安です。

ミニポシェットを作ろう！

使用する毛糸：ハマナカ ボニー パステルグリーン(407) 約15g
(※セット内容には含まれません。)
用意するもの：お好みのリボン 約30cm
(※セット内容には含まれません。)

糸かけ 横7ピン

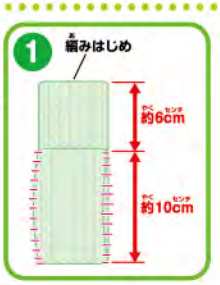


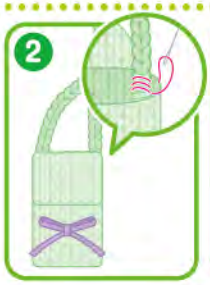
編む(本体)

① 横7ピンを使用し、約26cm編みます。
※ 編み方は、P13「横8ピンを使って！1～5③」を参照。
② 両端の残り糸は、数段編み目に通した後に切ります。

仕上げ

① 編みはじめ側を約6cm残して2つ折りし、両端を巻きかがりで縫い合わせます。
※ 巻きかがりの仕方は、P4を参照。
② 約75cm×3本の毛糸で三つ編みを編みます。
※ 三つ編みの仕方は、P16を参照。
③ 三つ編みのひもを本体内側の左右対称の位置に縫いつけます。
④ リボンを本体に通し、リボン結びで結んで取りつけます。





基本の織り方を覚えよう！

正方形タイプを使って！

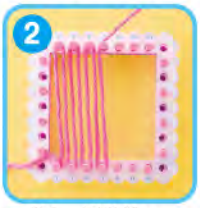
織り物

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

2. タテ糸をセットします

① 輪を作り、1 のピンにかけます。



② 数字の順番通りに 13 のピンまでタテ糸をかけます。

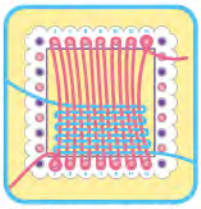
③ 輪を作り 14 のピンにかけます。
糸を 10cm 残して切ります。

3. 織ります

① とじ針にヨコ糸を通し、右側から下・上・下・上と交互に通します。

② 端まで通したら折り返し、同じように交互にヨコ糸を通します。

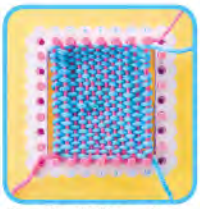
注意



折り返すときにヨコ糸を引っ張りすぎると織り幅が狭くなってしまうので気を付けてください。

③ ヨコ糸を手前に寄せます。

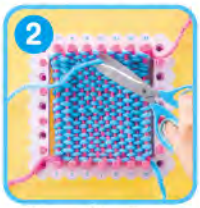
④ ①～③を繰り返し織ります。



織り目の間隔は、好みの間隔に調整してください。

4-A. 織りおわりの始末

① 端まで織れたら、目立たないように織地に通します。(織りはじめも同じように始末します。)

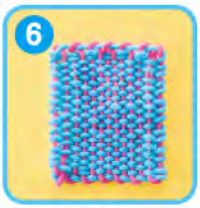


② 余った糸は切ります。

③ ピンからタテ糸を外します。

④ 織地の間隔が均等になるよう調整します。

⑤ タテ糸の輪をほどき、とじ針をつけて目立たないように織地に通します。(片方も同じように始末します。)



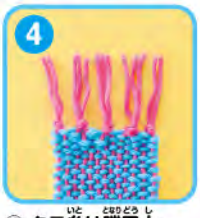
⑥ できあがりです。

4-B. 織りおわりの始末 (フリンジ付きの場合)

① 好みの長さまで織れたら、目立たないように織地に通します。(織りはじめも同じように始末します。)

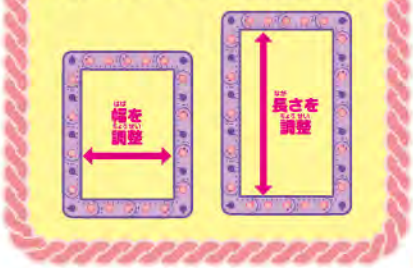
② 余った糸は切ります。

③ ピンにかけていたタテ糸は、輪になっている部分を切ります。



④ タテ糸は隣同士、2～3 本をまとめて縛ります。

作品に合わせてサイズを変えてみよう！



※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15)、ピンク (8))を使用しております。

コースターを作ろう！

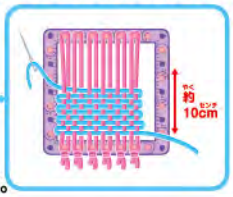
使用する毛糸：お好みの毛糸(並太)約 10g
用意するもの：ボンド 適量
(※セット内容には含まれません。)

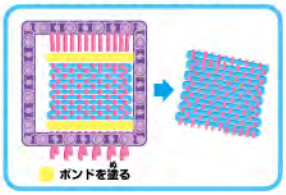
糸かけ

正方形タイプ
約50cm×6本の糸を上下のピンにかけて結びます。

織る
糸を２本取りし、約 10cm 織ります。
※織り方は、P14「正方形タイプを使って！3」を参照。

仕上げ
①ルームを裏返し、織地の両端がほどけないようにボンドを塗ります。
②乾いたらルームから織地を外し、余分なタテ糸を切ります。





グラデーションの毛糸がおすすめ！

タッセルの作り方

タッセル

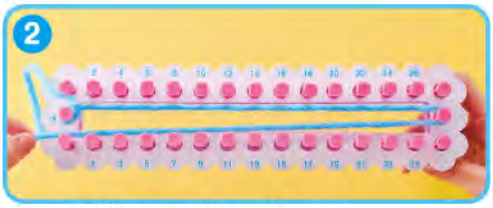
慣れたらピンの数を変えて、いろんな長さのタッセルを作ってみよう！

1. 準備をします

ピンの穴に合わせてガイドシートをさし込みセットします。
※慣れたら外してください。

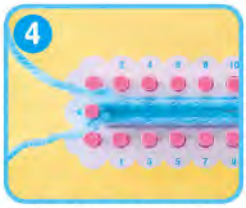
2. 糸を巻きます

① 輪を作り、★のピンにかけます。



② ★の反対側のピンに糸をかけ戻ります。

③ 5 周します。



④ 輪を作り★のピンに糸をかけます。

3. 中央で結びます

中央を別糸でしっかりと２回結びます。

4. はさみで切ります

① ピンから糸を外し、輪になっている部分をほどきます。

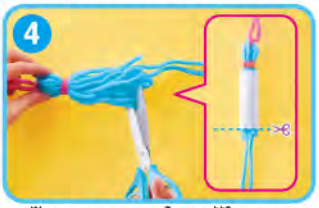
② 両端の輪になっている部分を切ります。

5. 仕上げ

① 別糸を準備し、上部を複数回巻きつけ固結びします。
※ お好みの位置で結んでください。

② 結んだ糸端は、とじ針で糸束の内側に入れます。

③ 糸端を根元で切ります。



④ 端をまっすぐに切って整えます。
※紙を巻き、紙の端に合わせて切りそろえると綺麗に切れます。

タッセルの結び方：応用編（まとめ結び）

結び目が表に出ず、きれいに仕上がります。

①約 50cm の刺しゅう糸を準備し、図のように折って重ね、約 5 回巻きつけ固結びします。※回数はお好みで変えてください。

②巻いた後、下の輪に糸端Bを通します。

③糸端Aを上に引っ張り、固定させます。両端を根元で切ります。

タッセルのアレンジ例

ひもを通してガーランドに！

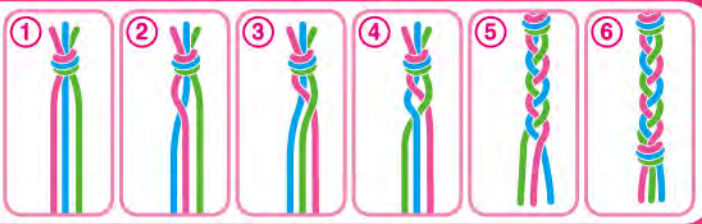
パーツを付けてイヤリングに！

※上記写真の毛糸は、説明を分かりやすくするため、市販の毛糸(ハマナカ ジャンボニー：水色(15)、ピンク(8))を使用しております。

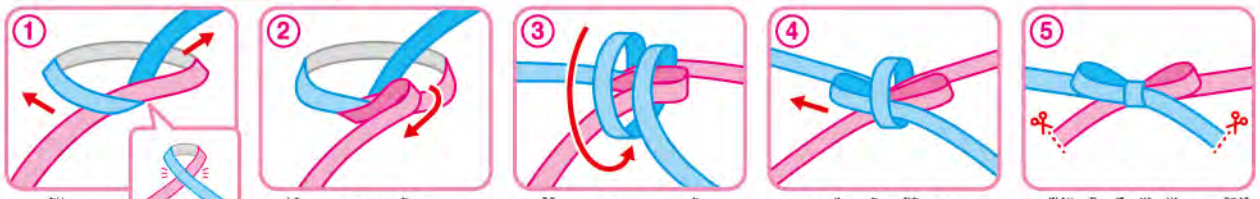
※目安としてご使用ください。

三つ編みの仕方

① 3本をひと結びします。
② 左の1本を他の2本の間へ移動します。
③ 右の1本を交差した2本の間へ移動します。
④ 左の1本を他の2本の間へ移動します。
⑤ ③～④をくり返します。
⑥ 欲しい長さまで編めたら3本をひと結びします。



リボン結びの仕方



① 1回結びます。
② 下のリボンで輪を作ります。
③ 上のリボンを②の輪に2回巻きつけます。
④ 1つ目の輪の中にリボンを入れます。
⑤ 全体を引っ張り形を整えます。必要に応じてはさみで切ってください。

ボンボンメイクの使い方(ボンボンの作り方)

① ボンボンメイクに毛糸を巻きます。
大：約80～120回巻きます(超極太の毛糸の場合)
小：約50～90回巻きます(超極太の毛糸の場合)
※ 柔らかい毛糸や細めの毛糸を使用する際は、巻く回数を増やして調整してください。
② 中央を別の糸で強く絞って結びます。
※ マフラーなどに付ける場合は、結ぶ毛糸を少し長めにしてください。
③ ボンボンメイクから毛糸を外し、上下の輪になった中央部分をはさみで切ります。
④ 形を整えながら丸い形になるよう、余分な毛糸をはさみで切ってください。
※ 作例に取り付ける際は、②で結んだ別糸は切らずに残してください。

ボンボンの付け方

① ボンボンの糸をとじ針に通し、ボンボンを付けたい位置に縫いつけます。
② ボンボンのもう片方の糸と、しっかり固結びします。
③ ボンボンの糸端にとじ針を通し、ボンボンの中に通します。
④ 余分な糸を切ります。
⑤ もう片方の糸端も同じようにすると、ボンボンが付きます。

商品についてのお問い合わせ
株式会社アガツマ お客様相談室
0570-011-415
電話受付時間 月～金曜日(祝祭日除く) 9:00～12:00、13:00～16:00
弊社での対応は日本国内に限らせていただいております。
Sorry, we do not respond to inquiries from overseas.
オークション、リサイクルショップ、個人間取引等の購入品に関しましては、お問い合わせをお断りさせていただく場合がございます。
アガツマサポート 検索

PINOCCHIO
ピノチオ
株式会社アガツマ
東京都台東区浅草橋3-19-4 〒111-8524
アガツマホームページ https://www.agatsuma.co.jp

324480